



BlackLine

Company Description

世界で3,400以上の企業が利用している、大企業、中堅企業の決算業務、会社間決済やその他の主要な財務経理プロセスの自動化、集中化、合理化を通じ財務経理業務に変革をもたらす、クラウドベースソリューション。

【機能】

世界のリーディングカンパニーに導入されているクラウド型決算プラットフォーム

・ 勘定照合

残高試算表の勘定科目別残高と、補助簿や明細内訳とを比較して差異を自動的に抽出。勘定照合プロセスの標準化と自動化を通じ、迅速かつ正確な決算を実現します。

・ タスク管理

タスクの一元管理することで業務が効率化され、ワークフローにより合理化が推進されます。リアルタイムなダッシュボードとレポート機能が、決算業務の進捗状況を見える化します。

・ 差異分析

前期比較や予算差異の変動を自動検出し、増減や差異の分析に関わる工数を削減します。

・ マッチング

入金消込だけでなく、グループ会社間取引の突合、POSとクレジットカードの突合、システム間のデータ突合などの様々な突合作業を自動化します。

・ 仕訳入力

仕訳入力・確認、証憑の管理、承認プロセスなど、入力から暗記に関する全ての業務をクラウドベースで一元管理します。

・ インターカンパニーハブ (ICH)

グローバルなグループ全体のデータを一元管理し、ガバナンスの強化、取引明細の管理、勘定照合、ネットティングと決済、そしてレポート作成を容易に行うことを可能にします。

会社間の組織の階層と関係性を定義し、取引内容の整合性を強化します。

【ソリューション】

クラウド型決算プラットフォームで決算のDX（デジタルトランスフォーメーション）を実現

・ リモート決算・監査

リモート決算とは場所を問わず、末期の決算処理を完了させることを意味します。

昨今の不確かな時代に、リモート決算は全ての経理財務担当者がそれぞれ違った場所から協力し合い、業務全体の可視性を重要視して決算処理を完了させることとなります。

ブラックラインではそういった経理財務担当者の皆さまに、迅速かつ正確なリモート決算が出来る基盤を提供しています。

・ SSC業務集約

BlackLineを利用することで勘定照合や企業間取引消去などのSSCで行われていた業務プロセスを自動化することが可能です。

また、クラウドシステムは、全ての関係者に簡単にアクセスできるため、SSC責任者や本社経理担当者が業務の進捗状況を管理・監視するのも役立ちます。

・ 働き方改革/残業削減

手作業の決算業務は、時間とリソースを奪い、リスクを高め、監査とコンプライアンスのプロセスに悪影響を及ぼし、人材を疲弊させます。

手作業から自動化プロセスへ移行することにより、決算業務とその担当部署、そして企業全体の運営を改善し、働き方改革を大きく前進することが可能になります。

・ 決算早期化

経済環境の変化に迅速に田泓するために、決算の早期化はますます重要な課題となっております。

一方で、事業規模の拡大に伴う取引量の増大により、従来型の決算業務ではこれ以上の早期化は難しい状況にあります。

さらなる早期化を目指すためには、コンティニユアス・アカウンティングという考え方を採用する必要があります。BlackLineは、コンティニユアス・アカウンティングを促進することが可能な決算プラットフォームとなっています。

- **経理業務高度化**

経済環境の変化のスピードが増すに従い、将来に対する不確実性が高まってきております。

その中で、経営者は経理財務部門に対して、過去の税務データを分析し、経営判断に資する将来予測といった高付加価値の業務を要求するようになっていきます。

今までマニュアルで行われていた必要な情報の収集や財務数値の確定といった決算業務について、Blacklineによりシステム化することで、非効率な業務に費やされてきたリソースをより付加価値が高い業務へシフトすることが可能になります。

Company Details

Head Office

Japan

Main Business

クラウド型 決算業務自動化ソリューションの提供

President

宮崎 盛光

Established

2018年8月

URL

<https://www.blackline.jp/>

Offices

Main Office

18F, Midtown Tower,
9-7-1, Akasaka,, Minato-ku
Tokyo, Japan, 1076218
